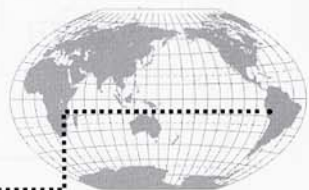


チュルカナスの焼きもの

藤井龍彦 (ふじいたつひこ)
国立民族学博物館名誉教授



いつか調べてみたい……

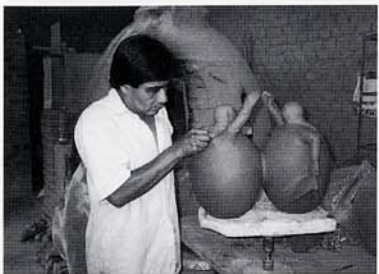
残念ながらもはやなくなりましたが、かつてペルーのおもな都市、少なくとも大都市をもつ都市にはストウティウムという名の木屋があり、そこでは学術的な本を入手することができた。一九八五年、ペルー南部アレキパ市のストウティウムで、「粘土が私たちをつなぐ」という本を購入した。著者はヘラシモ・ソサ（実際はル・カミノによる聞き書き）。この本により私は初めてチュ

ルカナスの焼きものを知った。石を使った磨き、たたきによる成形、ネガティブ・ペインティングによる装飾、いずれも先スペイン期の土器製作技術である。なぜ中央アンデスでも北の端のピウラ地方でという疑問。いつか調べてみたいものだと思った。

それから九年後の一九九四年、念願のチュルカナスの焼きものを調査する機会がやってきた。チュルカナスは、ペルーの首都のリマ市の北約一〇〇キロメートル、エカアドルとの国境に近いピウラ市からローカルバスに乗り換えて、さらに東へ六



ヘラシモの工房。手前に座っているのがヘラシモ



生乾きの作品に線描きの装飾をほどこすヘラシモ



台の上に載せた壺のまわりをまわりながらたたいていく

〇キロメートルほど行ったところにある。前述の本の事実上の著者ルベさんが、偶然友人の人類学者の姉であることがわかり、その伝でヘラシモへの紹介状をもらってはいしたが、いきなり行って「チュルカナスの焼きものについて調べてほしいのでよろしく」などと言ったところで、「はい、どうぞ」と応じてもらえるものであろうか。日本でも職人は気難しい人が多いというではないか。

赤道直下に近いチュルカナスの町で、頭の上から照りつける太陽のなか、バスターミナルからモト・タクシーというバイクを改造した三輪タクシードでヘラシモの家を探す。町の中心からとんとん走り、そのうち道路の舗装もなくなつて町外れに近くなつてくるではないか、と思っていると、「ここだ」という。チュルカナスの焼きものの創始者の一人であるヘラシモの家か工房なのだから、大きな看板でもかかっているのではという想像は完全にはずれ、どちらかという粗末な家だった。しかし、住所をみると確かにルベの紹介状と一致する。おそるおそるドアをノックすると、なかから上半身裸の中年の男性が顔を出した。「ヘラシモさんですか」「そうです」。ヘラシモとの最初の出会い。気さくが短パンをはいたようなヘラシモは、突然現れた私に別に驚いた風もなく、なかへ招き入れてくれた。天井は高いが薄暗い

工房は、土間であるせいかほこりっぽくがらんとしていて、とてもエストロの仕事場とは思えない。奥へ行くとオベラリオとよばれる手伝いの若者が三人、粘土をこねたり、石で器面を磨いたりしている。

訪問の趣旨を話すと、「どうぞ、好きなように」ということで、あつけないくらい簡単にチュルカナスの焼きものの調査が始まった。調査の結果はすでに「季刊民族学」八四号に書いたのでここではふれない。

さあ、困った、困った

さて、そこから大変。粘土をこね、形をつくり、装飾をほどこし、窯で焼くのであるから、一日やそこらで完成するものではない。チュルカナスの場合はそれに丹念な磨きと、この地方特産のマンガの葉を使った、びしょ濡れという工程が加わる。当然のことであるが、ひとつの作品だけをつくってゆくわけではなく、いくつもの作品を平行して制作する。というわけでチュルカナスの焼きものの全制作過程の記録をとるのに、非常に時間がかかる。おまけに寡黙なヘラシモは何もいわずに突然仕事を中断し、自転車にまたがってどこかへ行ってしまふ。

このときの調査、標本収集における苦労は、チュルカナスの暑さやホテルでの蚊の襲撃もあったが、いちばん困ったのは収集品の入手であった。ヘラシモをはじめおもな焼きもの師は、主として外国からの注文を受けて制作しているため、在庫というものをもちたないか、あつてもきわめて少ない。ヘラシモの工房にも二〇前後の作品がほこりをかぶつて置いてあつたが、すべて注文品であるため譲ってもらうことができなかった。

結果として、ピウラ市の二人の女性の収集家を紹介してもらい、彼女たちから購入することができたので、ラシモと妹のフナ、義理の弟のセグンド、その他サントディオ、マルティン、ポロ、マネノなど、チュルカナスのおもな焼きもの師の作品合計一〇〇点余りを収集することができた。もうひとつの心配が、日本のようにエアークラップなどの梱包材料がないペルーで、割れ物である焼きものを梱包し、リマまで運ぶことであつたが、幸いこの問題も扱いは慣れている彼女たちに頼み、無事リマで受け取ることができた。



窯入れを待つヘラシモの作品



窯詰めをするフナ



たたきによる成形作業